

親切運動の取組について

学校名 富山市立新庄小学校

児童数 618名

1 親切運動の取組の紹介

(1) 縦割り班活動

新庄小学校では、定期的に縦割り班で遊ぶ時間を設け、異学年で交流する活動を続けている。1・2学期は6年生が中心となって活動内容を考えた。3学期は4・5年生がその役割を担うことになっている。班全員が楽しめる活動になるよう内容を工夫したり、温かい言葉かけをしたりしていた6年生の姿を手本に、「次は自分が頑張るぞ」という気持ちになっている子供も多い。

11月には「新庄っ子ハッピースター祭り」を行った。委員会ごとに新庄っ子の笑顔があふれる時間を演出しようと工夫を凝らしたブースを用意し、縦割り班で祭りを楽しんだ。5・6年生は前後半で役割分担を行い、縦割り班のリーダーとして、また委員会のメンバーとして仕事を行った。1～4年生は、自分たちのために一生懸命仕事をしたり、優しく声をかけてくれたりする高学年の姿を見て、「私も5・6年生になったら、全校のみんなを喜ばせる企画ができるようにがんばりたい」「困っている人がいたら、進んで声をかけたい」と目を輝かせていた。身近な先輩をよい手本としている姿が見られた。



(2) 広報委員会による「ハッピースター貯金」の活動

広報委員会は、子供たちが選んだ友達の頑張りを「ハッピースター貯金」として貯めるとともに、放送で紹介する活動を行っている。子供たちは給食時の放送をとっても楽しみにしていて、頑張りを紹介された子供も、それを紹介した子供も嬉しそうにしている。また、いろいろな学年の子供たちの頑張りを聞くことで、多くの子供たちがよりよい新庄っ子を目指そうとする励みにもなっている。



2 親切運動に取り組んで

○ 取組の成果

様々な活動を通して、子供同士が互いのよさを見付け、よいところはどんどん取り入れていきたいという気持ちをもつことができた。周りの人の姿から思いやりの心を学び、自分も親切にしようという意識が高まっている。

● 今後に向けて

子供たちの「やりたい」という思いを大切に、どの学年の子供でも主体的に活動できる素地を育てていきたい。